

日本特殊陶業が東芝マテリアルを買収—シナジー効果と収益財務への影響を注視

以下は、日本特殊陶業株式会社（証券コード：5334）が、東芝マテリアル株式会社の買収を決議したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- 当社は11月25日に、取締役会において東芝マテリアル株式会社の全株式の取得を決議したと発表した。同社の事業内容はファインセラミックスなどの部品・材料の開発、製造、販売である。取得価額は約1,500億円で株式譲渡実行日は25年5月30日の予定である。
- 当社はセラミック素材技術などをベースに、主力の内燃機関事業を強固にすると同時に非内燃機関事業の規模拡大を図っている。今回の買収は当社にとって、EV等向けベアリングに使用される窒化ケイ素ボールやインバーター向けパワー半導体に用いられる窒化ケイ素放熱基板などでシナジー効果が期待できるとしている。今回の買収金額は当社規模からみて大きく、一時的な財務構成の悪化は避けられないが、JCRでは現状のキャッシュフロー創出力と近年の財務体質強化を踏まえ、現時点で直ちに格付を変更する必要はないと判断している。当社はデンソーのスパークプラグ事業などの譲受に向けた協議も進めており、その動向に加え、買収による収益財務への影響、シナジー効果、中期的な財務構成改善の進捗などに注目していく。

（担当）窪田 幹也・上村 暁生

【参考】

発行体：日本特殊陶業株式会社

長期発行体格付：AA- 見通し：安定的

■留意事項

本文に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル